公益法人用

（様式６）

経営改善目標の達成に向けた取組状況

１　法人の概要（令和８年７月１日現在）

法人名	（公財）かながわトラストみどり財団				
設立年月日	昭和60年6月1日	代表者名	理事長　引地 孝一		
所在地	横浜市西区岡野２－12－20	電話番号	045-412-2525		
基本財産等	332,000,000 円	県出資額	300,000,000 円	県出資率	90.36 %

２　法人運営における現状の課題（法人）

基本財産の運用益は低金利の中、長期債券（20年債、30年債）を購入したため、厳しい状況が続いていく。
また、県からの補助金が低迷している中、当財団の進める県民との協働による身近な緑地保全、森林の整備や地域緑化の推進をするため自主財源確保に取り組む必要があるため、引き続き新規会員の獲得に努めるほかに、会員等に緑地保全への支援会費及び寄附金への協力を、より一層積極的に呼び掛ける。緑の募金収入は、引き続き企業、学校等への協力要請を行う。

３　法人の県主導第三セクターとしての検証（所管課）

（１）公益性について

県民と協働してかながわのナショナル・トラスト運動及び県土緑化運動を実施することにより自然環境、歴史的環境の保全及び緑化の推進を図り、もってみどり豊かなかながわの創造に寄与するなど公益性の高い事業を実施している。

（２）県行政との関連性について

県の「かながわトラストみどり基金」及び「かながわ森林基金」の運用益等を財源として県から財政的支援を行っており、県と連携して事業を実施している。

（３）民間代替性について

かながわのナショナル・トラスト運動の推進母体として、普及啓発活事業、地域緑化活動事業、緑地保全事業等を行っており、県補助金、寄附金等や財団会員の支援等を財源にしていることや、ボランティアの協力を受けて活動しているため、民間では実施が難しい。

４　経営改善目標の達成に向けた取組実績等（法人）

＊　項目ごとに、下段の（　）内に目標を、上段に実績を記載してください。

【県民サービスの向上】

No.	項目	単位	７年度	８年度	９年度			７年度自己評価
1	情報発信の強化（ホームページのアクセス件数）	件/月	16,714 (15,200)	(15,200)	(15,300)	( )	( )	A
	自己評価（目標未達の場合はその理由）				今後の取組方針（目標未達の場合は必ず記載）			
	機関誌ミドリをWEBに掲載したことに加え、非営利団体向け無料広告サービスによる広報に努めたところ、アクセス件数が目標に達したため、A評価とした。							
	備考							

No.	項目	単位	７年度	８年度	９年度			７年度自己評価
2	トラスト会員新規入会者数（普通会員）	人	425 (400)	(410)	(420)	( )	( )	A
	（トラスト緑地保全支援会員）	人	128 (100)	(100)	(100)	( )	( )	
	自己評価（目標未達の場合はその理由）				今後の取組方針（目標未達の場合は必ず記載）			
	財団設立40周年を記念して、新たなイベントを開催など会員募集の広報に努めたところ、目標に達しため、A評価とした。				当財団が進める運動の情報発信の強化及び従来にないイベントの開催など新たな顧客層に向けた広報に取り組み、新規会員の獲得に努めていく。			
	備考							

No.	項目	単位	７年度	８年度	９年度			７年度自己評価
3	みどりの実践団体 （財団事業に参加する団体数）	団体	222 (220)	(220)	(220)	( )	( )	A
	自己評価（目標未達の場合はその理由）				今後の取組方針（目標未達の場合は必ず記載）			
	緑の募金、みどりのトラスト会員の募集、財団主催イベントの周知、研修会への参加及び団体の情報交換や連携の促進に努めたところ、目標の参加に達したためめ、A評価とした。							
	備考							

No.	項目	単位	７年度	８年度	９年度			７年度自己評価
4	保存契約緑地拡大面積	㎡	2,958 (500)	(500)	(500)	( )	( )	A
	自己評価（目標未達の場合はその理由）				今後の取組方針（目標未達の場合は必ず記載）			
	トラスト緑地の新規保存契約緑地の拡大に努めたところ、権現山緑地（大磯町）の土地所有者と保存契約を締結したため、A評価とした。							
	備考							

No.	項目	単位	７年度	８年度	９年度			７年度自己評価
5 ①	森林づくりボランティア参加者	人	6,220 (10,500)	(10,500)	(10,500)	( )	( )	B
	自己評価（目標未達の場合はその理由）				今後の取組方針（目標未達の場合は必ず記載）			
	天候不順、夏季の酷暑による参加の減少により、目標を下回ったため、B評価とした。				天候不順等に備えたプログラム等を検討していく。			
	備考							

No.	項目	単位	７年度	８年度	９年度			７年度自己評価
5 ②	森林インストラクター養成数 （１期［２年間］30人）	人	30 (30)	(－)	(30)	( )	( )	A
	自己評価（目標未達の場合はその理由）				今後の取組方針（目標未達の場合は必ず記載）			
	１期〔２年間〕の１年次は、目標の養成数に達したため、A評価とした。							
	備考							

【収支健全化に向けた経営改善】

No.	項目	単位	７年度	８年度	９年度			７年度自己評価
1	会費収入	千円	17,383 (17,000)	(17,100)	(17,100)	( )	( )	A
	自己評価（目標未達の場合はその理由）				今後の取組方針（目標未達の場合は必ず記載）			
	会員数が伸び悩む中、会費収入を確保するため、SDGsに取り組む県内の企業や団体等への広報に努めた結果、目標値に達したため、A評価とした。							
	備考							

No.	項目	単位	７年度	８年度	９年度			７年度自己評価
2	寄附金収入 （緑の募金を除く）	千円	7,658 (4,000)	(4,000)	(4,000)	( )	( )	A
	自己評価（目標未達の場合はその理由）				今後の取組方針（目標未達の場合は必ず記載）			
	機関誌ミドリ等による広報に努めたところ、目標に達したため、A評価とした。							
	備考							
	個人 281件 団体　42件							

No.	項目	単位	７年度	８年度	９年度			７年度自己評価
3	緑の募金収入	千円	25,535 (20,500)	(21,000)	(21,500)	( )	( )	A
	自己評価（目標未達の場合はその理由）				今後の取組方針（目標未達の場合は必ず記載）			
	企業募金の拡大により、目標を上回ったため、A評価とした。							
	備考							

５　財務状況（法人）

（単位：千円、％）

区分			7年度	8年度	9年度	増減率（前年度比）	備考
貸借対照表	資産		594,211				
		流動資産	34,003				
		固定資産	560,208				
	負債		54,312				
		流動負債	13,858				
		固定負債	40,454				
	正味財産		539,899				
		指定正味財産	425,854				
		一般正味財産	114,045				

区分			7年度	8年度	9年度	増減率（前年度比）	備考
正味財産増減計算書	一般正味財産	経常収益	187,374				
		経常費用	183,342				
		事業費	172,155				
		うち人件費	77,138				
		管理費	11,187				
		うち人件費	4,280				
		評価損益等計					
		評価損益等調整前当期経常増減額	4,032				
		当期経常増減額	4,032				
		経常外収益	0	0	0		
		経常外費用	0	0	0		
		当期経常外増減額	△0	0	0		
		当期一般正味財産増減額	4,032				
	指定正味	当期指定正味財産増減額	3,585				
	正味財産期末残高		539,899				

（単位:千円、%）

区分		7年度	8年度	9年度	増減率（前年度比）	備考
県の財政的支援※	補助金	122,679				
	交付金					
	負担金					
	貸付金					
	利子補給					
	合計	122,679	0	0		
	県の財政的支援の割合（合計/経常収益）	65.5				

※第三セクター等の指導、調整等に関する要綱に基づく支援区分

区分			7年度	8年度	9年度	増減率（前年度比）	備考
参考	①	委託料(指定管理料含む)					
		合計(県の財政的支援＋委託料)	122,679	0	0		
		県の財政的関与の割合（合計(県の財政的支援＋委託料)/経常収益）	65.5				
	②	債務保証(残高)					
		損失補償(残高)					

指標	計算式	7年度	8年度	9年度	増減率（前年度比）	備考
正味財産比率	正味財産/(負債＋正味財産)	90.9				
流動比率	流動資産/流動負債	245.4				
人件費比率	人件費/経常費用	44.4				
管理費比率	管理費/経常費用	6.1				

６　取組実績等についての総括（法人）

かながわのナショナル・トラスト運動や県土緑化運動を一層推進するため、普及啓発活動を通じてネットワークの拡大を図りながら、寄附金・緑の募金や会員の獲得による資金調達の強化に取り組んできた。また、SDGsに取り組む県内の企業や団体等への広報や財団設立40周年を記念イベントを開催し会員募集の強化に努めたところ、会員数及び会費収入の目標を達成した。なお、引続き広報の拡大や退会者を減らすための情報発信の展開及び自主財源の拡大を図るため、財団事業や法人運営への寄附の増強及び企業等からの事業受託の継続に努めていく。

７　取組実績等についての総括（所管課）

取組実績等については、９項目のうち「森林づくりボランティア参加者」の１項目を除いた８項目で目標を達成することができた。特に、目標達成した項目のうち、「トラスト会員新規入会者数」「保存契約緑地拡大面積」「寄附金収入」などの項目では広報や普及啓発等に努めた結果、前年度を上回る実績を挙げている。

「保存契約緑地拡大面積」は地権者との交渉の結果、新たに権現山緑地（大磯町）の保存契約を締結し、目標を大幅に上回っただけでなく、これまでの５箇所から６箇所となったことは、評価に値する。

また、「森林づくりボランティア参加者」が目標達成をできなかったことについては、天候不順、夏季の酷暑によるものであるため、やむを得ないと考える。

かながわのナショナル・トラスト運動の一層の普及啓発及び令和７年度からの経営改善目標の達成に向けて、所管課としても引き続き協力していく。

８　第三セクター等改革推進会議の総合評価・今後の取組に向けた意見

評価結果	
A	概ね着実に取組が進められている。